

仮想アース Crystal Ep-G の導入(4)(HP 収載) ースピーカーアキュライザーへの適用(1)ー

1. 始めに

前報(1)では、Crystal Ep-G シリーズの仕様と機能について紹介し、Crystal EpY-G を2個導入することを述べました。今回は、スピーカーアキュライザーへの適用について検討します。

2. Crystal EpY-G の試聴計画

適用箇所の候補としては、自作の仮想アースを使用している箇所への置き換えがあります。

アースアキュライザーの導入(16)では、スピーカーのマイナス端子やスピーカーアキュライザーのマイナス端子に自作の仮想アースを接続することを検討し、最終的にはスピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子にありあわせのケーブルで接続することで推移しています。

そこでこの自作の仮想アースを Crystal EpY-G に置き換えることにしました。



音源は、アースアキュライザーの導入(16)で使用した下記を使用します。

STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

以上に加えて下記を追加します。

アナログ

LONDON 360R 56009

モーツアルト デヴェルティメント第 17 番

ウィリーボスコフスキー指揮ウィーンモーツアルト合奏団

Angel AA-9117・C

ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

CD

harmonia mundi / King International KKC-5635/38

ベートーヴェン ピアノ 3 重奏曲

トリオ・ヴァンダラー

3. Crystal EpY-G の試聴結果

スピーカーアキュライザーのマイナス端子に自作の仮想アースを接続した状態で聴いておき、Crystal EpY-G に入れ替えて聴き直します。なお、EMT981 と Sonica DAC は元の Crystal EpY に戻してあります。

ベートーヴェンのピアノソナタは、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crystal EpY-G をセットしますと、響きが豊かになり、左手の音がまろやかになります。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、スピーカーアキュライザーのマイナス端子に Crystal EpY-G をセットしますと、ヴァイオリンがしなやかになり、ボウイングの細かいニュアンスが聴き取れます。

モーツァルトのデヴェルティメント第 17 番は、スピーカーアキュライザーのマイナス端子に Crystal EpY-G をセットしますと、弦楽アンサンブルはふくよかでしなやかになり、コントラバスのピチカートは量感が増して明瞭になります。

ヘンデルのメサイアは、スピーカーアキュライザーのマイナス端子に Crystal EpY-G をセットしますと、ソリストと合唱の歌唱は一段と力強く、弦はしなやかに、トランペットは輝かしく、通奏低音は明瞭になります。

ベートーヴェンのピアノ 3 重奏曲は、スピーカーアキュライザーのマイナス端子に Crystal EpY-G をセットしますと、ヴァイリンとチェロはしなやかに、ピアノの響きは豊かになって、アナログ的な音になります。

4. まとめ

スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子の自作仮想アースを Crystal EpY-G に替える効果を認めました。

以上